

平成30年度東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

NO. 1

申請事業名	東林地区自転車マナー向上事業
申請団体	東林地区交通安全母の会
事業目的	住民の交通安全意識の向上。 交通事故の減少。
交付決定日	平成30年6月1日
交付決定額 (事業費)	398,000円(決算431,892円)
団体実績報告	<p>東林地区では、平成26年、平成28年に続き3回目の開催であった。今年度計画当初、過去2回を行楽シーズンの秋に開催していたため、開催時期を夏休み直前に変更し、長期休み前に注意喚起できるよう計画していたが、例年になく猛暑に見舞われたため、延期し秋の開催となった。</p> <p>好天の3連休初日という日程にはなってしまったが、幅広い年齢層の方に参加いただけた。相模原市は県下でも自転車事故の多い地域であるため、今後も危険意識の低い方へのアプローチを検討していきたい。</p>
市評価	<p>神奈川県内で、本市内の交通事故の件数は多く、毎年死亡事故も起きている。交通事故にあわないように、歩行者、自転車側の目線だけでなく、車側の目線での説明もあり、交通事故防止に寄与した。</p>
備考	

申請事業名	おださがさくら祭り
申請団体	おださがさくら祭り実行委員会
事業目的	<p>次の三つの益を柱として協力者、参加者、主催者が一体となり、おださかの春を通してまちを愛するところをつくりあげられるような地域イベントを開催し、地域活性につなげる。</p> <p>地域益・・・春のにぎわいとして毎年多くの住民から愛されるまつりへ 参加者益・・・人とのつながりが感じられるまつりへ 主催者益・・・まつりの開催が組織の成長と周知へつながっていくまつりへ。地域のよろこびを自分のよろこびに感じられるところの醸成。</p>
交付決定日	平成30年12月21日
交付決定額 (事業費)	500,000円(決算4,022,447円)
団体実績報告	<p>平成31年3月30日(土)おださがさくらを開催 ステージ：本会場、サテライト会場にて、オダサガリンピックや音楽ライブ、ダンス等31団体が出演。 屋台：小田急相模原周辺の16店舗が出店 縁日：ストラックアウトや射的など6店が出店</p> <p>1万4,000人を超える来場があり、地域に根ざした新旧商店の商業の振興と共に、おださがで活躍する団体のステージ発表の場を通じておださかの魅力発信が出来た。また今回は、サテライト会場を増設したことで、より一層の魅力発信に繋がった。松ヶ枝公園の満開の桜のもと実施することが出来たおださがさくら祭りは、おださかの春を感じ、地元愛を育むイベントになった。</p>
市評価	<p>今回からサテライト会場を設けたことで、発表者や出店も増え、一層の盛り上がりを見せた。また、地域住民の地元愛を育むイベントに成長してきている。</p>
備考	

申請事業名	緊急時避難機器整備事業
申請団体	ライフコア東林間アネックス自治会災害時要援護者支援組織
事業目的	高層階から地上へ最小人員（1人に対して1人）で安全かつ容易に要支援者を避難させることを可能にし、防災力を高める。
交付決定日	平成30年12月21日
交付決定額 （事業費）	118,000円（決算177,120円）
団体実績報告	<ol style="list-style-type: none"> 1) 緊急時の要援護者に対し、高層階からの避難作業がより可能になった。 2) 操作性の拾得者の育成がなされた。 3) 昨年購入のイーバックチェアを防災体験デーに展示・実演し講評だった。 4) 他地域で新たに災害時要援護者避難支援組織を立ち上げる組織の方に緊急時避難機器として紹介することが出来た。
市 評 価	平成30年度に引き続き平成31年度の東林地区防災体験デーに参加し、他のマンションへの災害への意識を高めることが期待される。
備 考	

申請事業名	りんりんカフェ
申請団体	りんりんカフェ
事業目的	東林地区の参加資格を問わない気軽を集える場を作る。 活動場所（第1高齢者支援センター）を生かし、介護・福祉・生活の悩みはセンターにつなげる。 地域のつながり支援に取り組んでいく。
交付決定日	平成30年12月21日
交付決定額 （事業費）	9,000円（決算38,548円）
団体実績報告	他の活動の対象外である高齢者が気軽に参加でき、楽しみにされている方や当事業活動に賛同してくれるボランティアが増えた。参加者の介護、障害等の相談ごとを行政関係機関へつなげる事が出来た。
市評価	多くの方が参加した事で、高齢者の外出の機会が増えた事に加え、相談を高齢者支援センターにつなげるなど、高齢者支援に寄与した。
備考	